

ライブ毎刊びゃっきープレス

2007

3 月初旬号

ライブ当日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人

無料配布

↑あたりまえ



役にたたない偏重サイト
情報がグレードダウン!!

アクセス不要
http://www.satram.jp/
info@satram.jp

byacky press

奮闘

びゃっきーの運搬用キーボードの彩色作業が2月24日から始まった。鍵盤タッチと音量のさじ加減がとにかく最悪な、軽さのみを追求した安物キーボードだが、自分だけの彩色を施すことによって、気分だけでも前向きにライブを行おうというこの企画。そのために払われた代償は大きく、様々な困難に見舞われた。そしてまだちっとも完成していない。

塗装前(裏)



塗装中(表)



真っ赤に染まったレンジフードカバー

鍵盤塗装

スプレー侮りがたし

塗料空霧散に部屋が赤色に

びゃっきーの運搬用キーボードを赤色で塗装しようというこの企画。事前にスプレーとマスキングテープを購入し、しっかりと準備を整え、キーボードの塗装に臨んだ。

当初の予定ではキーボードを分解して、塗装を行い、あわよくば黒鍵まで赤色にしようと思論んでいた。ところが分解途中で、内部のコードをうまくはずすことができず、確実に壊さずに分解する目的が立たなかった為、途中で組み立て直すことに。キーボードはそのままの形で塗装されることとなり、黒鍵を赤く塗る野望は露と消えた。

そして、新聞を敷き、余計なところに塗料がかからないようにアルミ箔とサララップとマスキングシートでキーボードを防御し、いざ塗装開始。購入したスプレーをかけてみると半透明な仕上げ用カラーズスプレーであることが判明。白色の塗装をスプレーも購入していたが、同様に仕上げ用のクリアースプレーであることが判明。急遽近所の量販店で赤色のスプレーと白色のスプレーを一缶ずつ購入した。

気分を取り直して塗装作業にかかるが、塗り始めた瞬間から体に悪そうな匂いが立ち込める。換気は十分に行っているものの、耐え切れず、一度塗りを終え、と家の外に退避。一時間後に戻るというようなことを繰り返した。二度塗りの途中で一缶なくなっただけで、仕方ないで近所の量販店で赤色スプレーを二缶購入してきた。軽量だけを念頭にようやく探して来た88鍵盤のキーボードなのに、色塗りが完了した後は重さが数キロ増えているという本末転倒な結果に仕上がらないか心配である。そんな不安を抱えながら、ようやく三度塗り完成させた。なかなかの出来である。そしてその上から例の仕上げ用半透明スプレーをかけてみると、どうだろう！ 恐ろしいほどの色むらになった。何が仕上げ用スプレーだ。色むら用スプレーである。まあガンブラッポイ色がパール仕上げっぽくなった。むらも効果が見えなくもない。と言いつつ聞かせながら半面が完成した。そう、これでまだ半面である。残りの半面は翌日に行うこととなった。

翌日塗装面を裏返し、残りの半面の塗装が開始された。そこで換気扇をつけようとしたときにぎよつとした。レンジフードカバーが真っ赤になっただけで、「とりかえてネ」の文字が浮かんでいたのだった。これは体に悪い。スプレーを始めるとあたり霧が発生して視界が悪くなっている。ぎよええー！（続く！）